

入札監視委員会定例会議議事概要（物品等）

開催日及び場所	平成21年3月4日(水) 東北大学本館第2会議室	
委員 (敬称略)	委員長 加藤義雄(仙台市社会福祉協議会会長) 委員 三輪佳久(弁護士) 委員 手島貴弘(公認会計士・税理士)	
審議対象期間	平成20年 4月 1日 ~ 平成20年 9月30日	
個別審議対象案件	8 件	(備考) 審議対象期間の総契約件数387件から、個別審議対象案件8件を抽出審議した。 回答は当該案件の担当者が行った。
一般競争入札方式	3 件	
総合評価方式	1 件	
最低価格方式	2 件	
指名競争入札方式	件	
総合評価方式	件	
最低価格方式	件	
随意契約方式	5 件	
企画競争	2 件	
見積合せ	1 件	
競争性のない随意契約	2 件	
委員からの意見・質問 それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	審議対象案件について概ね妥当と判断される。なお、審議の過程における各委員からの意見等を踏まえ、透明化への取組みを一層推進させることなどにより、物品等調達の更なる適正化に努められたい。	

別 紙

質 問 (意 見)	回 答
<p>1 . 個別審議対象案件の抽出について (担当委員から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	
<p>2 . 個別審議対象案件の審議</p>	
<p>(1) 一般競争入札方式 (総合評価方式)</p> <p>【原子炉遮蔽壁への適用を目指した開発試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊な事業で入札説明書の交付先が 1 社となっているが、他に応札可能な業者はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放射線の遮蔽技術を複数年に渡って開発するもので、継続性の観点からも他社の応札は厳しいものと考えられる。事業費の使用ルール上、総合評価方式の一般競争入札が義務付けられている。
<p>(2) 一般競争入札方式 (最低価格方式)</p> <p>【小動物用デジタルMRI装置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 社に入札説明書を配布しながら、実際に入札に参加したのは 1 社のみである。仕様等に問題があるのではないのか。 ・ 予定価格の積算はどのように行ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本装置は、小動物用の極めて特殊な装置であることからあまり市場に流通しておらず、医療用MRI装置の取扱業者である 3 社は、参加を見送ったものと思われる。 ・ 過去の他機関の実績を参考としている。
<p>【薬品 (単製品目) 274 品目中 51 品目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格はどのように決定しているのか。 ・ 薬価と比較して、平均何%ほどの値引となっているのか。 ・ 適正な契約価格となっているのか。 <p>(意見) 適正な価格により契約するよう、引き続き取り組まれない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他病院の価格や業者からの参考見積により決定している。 ・ 6%程度であった。 ・ 予定価格設定においては、周辺病院に対しても価格調査を実施している。

質 問 (意 見)	回 答
<p>(3) 随意契約 (企画競争)</p> <p>【「M R S A 院内肺炎に対するリネゾヒドの有効性と有用性の検討」に関わる支援業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査員の評価が同一になったのは何故か。 ・ 評価は何点満点で行われたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学が有しないノウハウを補うことを目的とした支援業務であったことから、審査員である本学教員がほぼ満点の評価をしたため、同一の点数になったものである。 ・ 1 0 0 点満点である。
<p>【高度環境政策・技術マネジメント人材養成ユニット eラーニングシステム等開発業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査員の評価が大きく乖離したのは何故か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育をテーマとした内容について教員である審査員の評価に違いが生じた。さらにeラーニングの技術的部分について、審査員の知識の度合いにより評価が分かれたことが重なり、審査員毎の審査結果が乖離したものである。
<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 社だけの応募では、点数に関わらず契約相手方とせざるを得ないのか。 ・ 審査委員は、どのように選定されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価上の合否判定で「否」とされた場合、契約相手方とはしない。 ・ 学内の専門的知識を有する教員等から選定している。
<p>(4) 随意契約 (見積合せ)</p> <p>【(米国) アジレントテクノロジー社製 A g i l e n t 3 0 0 0 マイクロGC 1 式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者数が 2 社と少なく落札率が高い。また、予定価格と定価が近接しているのはなぜか。 ・ 市場調査とはどのように行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同社製品を扱っている複数社に見積を要請し、結果 2 業社が見積を提出した。 同社の製品については、市場調査から大幅な値引きがないため、定価と近接し落札率も高くなっている。 ・ 同等品の契約実例について、他の国立大学法人等の他機関に照会し、また本学内の実績を調査している。

質 問 (意 見)	回 答
<p>・見積合せは、何社以上という条件があるのか。</p> <p>・契約相手方を選定した後、当該業者との値引き交渉はしていないのか。</p> <p>(意見) 見積合せ後の値引き交渉により、より安価な契約をしている場合もあるので、参考にして欲しい。</p>	<p>・複数社としている。</p> <p>一般のパソコン等、汎用品であれば、参加は多い。特殊な分野の機器等については専門業者しか対応できないため、応札者が少なくなる傾向である。</p> <p>・交渉していない。</p>
<p><u>(5) 随意契約 (競争性のないもの)</u></p> <p>【テレビ番組「東北大学の新世紀」制作業務】</p> <p>・基本合意書に基づく随意契約としているが、どのようなことか。</p>	<p>・100周年記念事業を期に本学の高い研究水準を内外にアピールする戦略的な広報活動を検討していたところ、当該放送局が番組枠や海外メディアに放映する手法を本学に提案し、本学との基本合意書を取り交わすに至った。</p> <p>1年間で終了する予定であったが、視聴率が予想より高かったため、1年延長したものである。</p>
<p>【(株)キーエンス製 HSオールインワン蛍光顕微鏡 BZ-9000 一式】</p> <p>・定価、予定価格及び契約金額が同一であるのはなぜか。</p> <p>・本機種を選定したのは何故か。</p>	<p>・市場調査の結果、同社が例外なく定価販売しているためである。</p> <p>・同等の価格帯の製品と比較した結果、小さな筐体でありながら、当該研究に要求される性能が優れていたためである。</p>
<p>3. 意見の具申</p> <p>審議対象案件について概ね妥当と判断される。</p> <p>なお、審議の過程における各委員からの意見等を踏まえ、透明化の取組みを一層推進させることなどにより、物品等調達の変なる適正化に努められたい。</p>	<p style="text-align: right;">以 上</p>

